



① 9月に導入された電子黒板を活用した授業。②新型コロナウイルス感染拡大により休校になった児童とICTを活用し、ビデオ通話を行う先生。③漢字の練習ができる学習アプリが搭載。タッチ画面での書き取りも。④タブレットのカメラで朝顔の成長を撮影する児童。⑤タブレットの充電保管庫。各教室に設置されています。



GIGA スクール構想

Global and Innovation Gateway for All (すべての人に世界的で革新的な入り口を)の頭文字で、インターネットを上手く活用して、子どもたちの能力を最大限引き出すことを目的としています。

GIGA スクールで何が変わる？

一斉学習



子どもたちの画面をリアルタイムで先生の端末に一覧表示し、一人一人の反応を把握して授業を進めることができる。

個別学習



各自の端末から学習した内容の履歴を確認できるので、それぞれの習熟度を把握し、その子に合わせた課題を提供できる。

協働学習



子どもたち一人一人が考えをまとめたものをリアルタイムで共有し、お互いの意見交換がより活発になる。

特集 変わる。三芳の学び。

進化する学び

パソコンやスマートフォンなどの通信機器が溢れている今の社会。子どもが日常生活で普通にICTに触れている現状に対し、日本のICT教育は世界的に遅れていると言われてきました。そんな従来の教育を変え、教育とICT活用を組み合わせる学びが三芳町で動き始めていました。

今月の特集は、「変わる。三芳の学び」。ICT活用で新たな進化をはじめた三芳の教育現場に迫ります。

町では国が掲げるGIGAスクール構想に基づいて令和2年から機器の導入やネットワーク環境の整備を進め、町内小中学校の一人一台タブレット端末の整備が完了。令和3年から本格的な活用が始まって10月で1年半あまりが経ち、各学校ではタブレットを使う授業が浸透しています。

鉛

筆、消しゴムなどに並んでタブレット端末が文房具のように学校の授業で使われる。そんな新たな学びの時代が既に三芳町で始まっていることをご存知ですか？

※ Information and Communication Technologyの頭文字で、インターネットなどの通信技術を活用したコミュニケーションのこと。